

議長／皆さんおはようございます。

ただいまより、令和4年12月、武雄市議会定例会を開会いたします。

これより直ちに本日の会議を開きます。

市長から提出されました、第76号議案から第91号議案までの16議案と報告1件を一括上程いたします。

日程第1．会期の決定を議題といたします。

本定例会の会期等に関し、議会運営委員会に諮問をいたしておりましたので、これに対する議会運営委員長の答申を求めます。

上田議会運営委員長

上田議会運営委員長／おはようございます。

令和4年12月武雄市議会定例会の招集に基づきまして、議長から諮問がありましたので、11月16日、議会運営委員会を開催し、協議いたしました結果について御報告を申し上げます。議長から諮問がありました事項は、第1．会期及び会期日程について、第2．付議事件の審議順序及び委員会付託の要否について、第3．一般質問の質問順序について、以上3項目でございます。

本定例会において審議すべき議案等は、ただいま議長から上程になりました、承認議案2件、条例議案5件、事件議案2件、予算議案7件、報告事項1件の計17件でございます。

次に、議案の審議順序及び委員会付託の要否についてでございます。

審議の順序は議案番号順に行い、第85号議案 令和4年度武雄市一般会計補正予算(第8回)につきましても、所管の常任委員会に分割して付託、その他の議案につきましても、所管の常任委員会に付託することで意見の一致を見ました。

次に、一般質問でございます。

11名の議員から35項目の通告がなされており、質問順序の抽選結果はデータ配付のとおりでございます。

11月24日、25日、28日の3日間の日程とし、抽選結果の順に、24日及び25日はそれぞれ4名ずつ、28日は3名行うこととして、いずれも午前9時開議とすることに決定いたしました。

質問時間につきましては、答弁を含めて60分であります。

以上のことを考慮し、検討いたしました結果、会期は、本日17日から12月5日までの19日間の期間が適当である旨、決定いたしました。

なお、日程等の詳細については、データ配付のとおりです。

答申は以上でございます。

議長／お諮りいたします。

会期の決定につきましては、ただいまの議会運営委員長の答申のとおり、本日 17 日から 12 月 5 日までの 19 日間と決定をいたしたいと思えます。

これに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声)

御異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は、本日 17 日から 12 月 5 日までの 19 日間とすることに決定いたしました。

日程第 2. 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、武雄市議会会議規則第 88 条の規定により、10 番古川議員、13 番石橋議員、18 番牟田議員、以上 3 名を指名いたします。

日程第 3. 議長の諸報告を申し上げます。

議長の諸報告は、電子会議システムに掲載しておりますので、それをもって報告にかえさせていただきます。

日程第 4. 市長の提案事項に関する説明を求めます。

小松市長

小松市長／おはようございます。

武雄市議会定例会の開会に当たり、一言御挨拶申し上げます。

西九州新幹線の開業についてであります。

9 月 23 日に待望の西九州新幹線が開業いたしました。

開業日の朝、7 時 3 分に武雄温泉駅を出発した 1 番列車を見送りながら、これまで開業に向けて御尽力いただいた全ての皆様への感謝が込み上げてくるとともに、この機会を本市のさらなる飛躍につなげるべく決意を新たにいたしました。

開業後、駅前広場などを中心に市内各所で官民一体となったイベント等が毎週開催されています。

先週 12 日には、「秋田竿燈まつり I N 武雄」を 4 年ぶりに開催いたしました。

当日は、武雄温泉駅前など 8 か所で、秋田市竿燈会の皆様に黄金色に彩られた 8 本の竿燈を掲げながら、妙技を披露いただきました。

市役所では、市内に加え、周辺市町や秋田の特産品の販売も行われ、当日は市内外より約 10 万人の皆様にお越しいただきました。

秋田市の皆様をはじめ、今回のイベントに御協力いただきました全ての皆様に心より感謝申

し上げます。

これからも、戊辰戦争の頃より続く秋田との絆をより一層深めてまいります。

この開業によるまちの盛り上がりを一過性のものとせず、継続した取組に深化していくことが重要であります。

武雄にある資源を生かして本市へのさらなる誘客を図るとともに、広域エリアや沿線自治体で連携を深め、西九州のハブ都市としてさらなる交流人口の増加やまちの活性化につなげてまいります。

また、今月から福岡や長崎への通勤通学定期券補助を開始いたしました。

開業により福岡方面への特急の本数は2倍になり、長崎までは最短23分で結ばれ、福岡と長崎が通勤通学圏内となりました。

この交通の利便性の高さに加え、子育て環境のよさなど住みやすい環境を積極的にPRし、定住移住を強力に推進してまいります。

物価高騰対策についてであります。

エネルギーや食料品等が高騰する中においても、安心した市民生活を送れるようにすることが重要であります。

これまで高齢者や子育て世帯など生活に困っている方へ支援を行ってまいりましたが、価格高騰が長引く中、全市民が困っておられるという状況下であることに鑑み、1人当たり3,000円の「たけお生活応援券」を全市民に配布いたします。

また、この応援券により市内での消費を喚起し、地域経済の活性化も図ってまいります。

さらに、資源エネルギー庁が定めた省エネ基準達成率100%以上の家電への買い替え費用に対し最大1万円の補助を行い、市民生活の負担軽減を図るとともに、エネルギーに過度に依存しないライフスタイルへの転換を促し、ゼロカーボン社会の実現につなげてまいります。今後も、エネルギーや物価高騰の状況を注視し、国県と連携しながら、市民生活の維持に向けた支援を機動的に行ってまいります。

治水対策についてであります。

大雨による災害を二度と起こさないため、国県等と連携し、治水対策を引き続き強力に推進しております。

河川のしゅんせつや排水ポンプ増強などが進む中、10月26日には広田川排水機場新設工事が着工されました。

この排水機場は毎秒5立米の排水能力があり、中学校のプールなら約1分半で排水できます。令和6年度に完成予定で周辺地域の浸水被害の軽減が期待されます。

ため池の有効活用に向けては、比較的大きなため池について水利権者の方々を交えた実態調査を行っております。

この調査などを基に来年度からの活用方法を検討してまいります。

引き続き、新・創造的復興プランに基づき「床上浸水ゼロ」を目指し、田んぼダムの推進やため池・ダムのさらなる活用など、今あるものを最大限に活用しながら流域治水を強力に進めるとともに、一日も早い六角川の特定都市河川指定の実現に向けて流域全体で協議を進め、いつまでも安心して暮らせるまちをつくってまいります。

新型コロナウイルス対策についてであります。

新型コロナウイルスの陽性確認が再び増加してきている中、市民の命を守ることを最優先に、感染拡大防止と社会活動の両立に向けた取組を進めることが重要であります。

ワクチン接種については希望する方が確実に接種できる体制を整えており、11月5日からは、乳幼児用ワクチンの集団接種を開始いたしました。

これから予想される感染の第8波に備えて重症化リスクの高い高齢者等はもとより、若い方にもオミクロン株に対応したワクチンの年内接種を積極的に推進してまいります。

最後になります。

今議会は、私にとりまして任期最後の定例市議会となります。

市長就任以来、できるだけ現場に出向き、皆さんの切実な声を聞くことを大切にし、議会の皆様と議論を重ねながら、全力で市政運営に取り組んでまいりました。

この4年間を振り返りますと、任期がスタートした令和元年には29年ぶりの大水害、令和2年からコロナの感染が広がり、令和3年には丸2年で2回目の大水害が発生しました。

エネルギーや物価高騰も長引いております。

市民の皆様にとっては厳しいことが続いている中、市民の命と暮らしを守ることに注力してまいりました。

水害からの復旧復興にはまだ時間を要しますが、これからも最後のお一人まできめ細かい支援を進めていかなければなりません。

また、復旧復興や治水対策をはじめ多くの事業へ積極的に予算を活用し、各種事業に取り組んでいる中、国等からは多くの支援をいただいております。

その結果、安定した財政運営ができておりますのも、ひとえに議員の皆様の各方面への積極的な働きかけなど多大なる御支援の賜物であり、深く感謝申し上げます。

このような厳しい社会情勢でございますが、西九州新幹線の開業が一筋の光となり、開業後には市のにぎわいが生まれ、メディアへの露出も増えてきております。

このチャンスを最大限に活かして、雇用を創出し、子育てや教育環境をさらに充実させて、移住・定住を増やし、交流人口を増やし、さらなるまちの元気と活気につなげ、希望をつくっていく。

あわせて、文化やスポーツを通じて、心の豊かさや郷土の誇りをつくっていく。

安心と希望と誇りこそが「やっぱり武雄。このまちでよかった」と全ての市民が実感できるまちにつながっていくものと考えております。

そのためには、皆様のお力添えが必要不可欠であります。

今後も、市民福祉の向上、そして、武雄市のさらなる発展に全力で努めてまいりますので、議員各位のさらなる御理解、御協力を切にお願い申し上げまして、私の提案事項説明とさせていただきます。

本議会もどうぞよろしくお願いいたします。

議長／北川副市長

北川副市長／おはようございます。

私のほうからは、今定例会に提出しております議案について、その概要を御説明申し上げます。

まず、条例議案5件について御説明いたします。

「武雄市職員の給与に関する条例及び武雄市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例」は、国家公務員及び佐賀県職員の給与改定に鑑み、一般職の職員の給与を改正するものであります。

「武雄市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び武雄市特別職の職員の給与、旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例」は、国家公務員の給与改定に準じ、市議会議員及び常勤の特別職の期末手当の支給率を改正するものであります。

「武雄市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例」は、地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴い、条例を改正するものです。

「地方公務員法の一部を改正する法律の施行等に伴う関係条例の整備に関する条例」は、地方公務員法の一部を改正する法律の施行等に伴い、関係条例を整備するものであります。

このほか、特定優良賃貸住宅の供給の促進に関する法律施行規則の一部改正に伴い、「武雄市特定公共賃貸住宅設置条例の一部を改正する条例」を提案いたしております。

次に、事件議案2件について御説明いたします。

「武雄市体育施設の指定管理者の指定について」及び「武雄市図書館・歴史資料館の指定管理者の指定について」は、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を求めるものであります。

続きまして、予算議案について御説明いたします。

「令和4年度武雄市一般会計補正予算（第8回）」では、国及び県の補助金による事業の追加など、9月補正予算編成後に生じた事由により、速やかに対応すべき経費について補正をお願いしております。

まず、国や県の補助金等を活用した事業では、新型コロナウイルスワクチンの接種体制の継続的な確保に要する経費や、物価高騰による家計負担の軽減等を図るための市民1人当たり

3,000 円の商品券の発行に要する経費などを計上いたしております。

市単独事業では、エネルギー価格の高騰等に伴う公共施設の管理経費や、給与改定等に伴う人件費の補正等を計上いたしております。

その他の補正予算では、4 件の特別会計と 2 件の公営企業会計の予算を提出いたしております。

また、さきの議会以降、緊急を要した「令和 4 年度武雄市一般会計補正予算（第 7 回）」及び「財産の取得について」の 2 件の専決処分を行いましたので、これについて議会の承認を求める議案を提出いたしております。

このほか、交通事故による損害賠償に係る専決処分の報告をいたしております。

詳細につきましては、御審議の際に補足させていただきたいと存じます。

よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

議長／日程第 5. 教育長の教育に関する報告を求めます。

松尾教育長

松尾教育長／おはようございます。

教育に関する報告を申し上げます。

たけお教育の日イベント「たけおっ子フェスタ～夢をのせて 出発進行！」を 10 月 9 日に開催しました。

たけおっ子フェスタとしては初めて、文化会館大ホールにて有観客で行い、多くの保護者様にも見ていただくことができました。

たけおっ子が見て、聞いて、感じたことを表現する舞台である「たけおっ子の主張」では、幼稚園児から高校生まで、堂々と大きな声でおのこの思いを表現され、団体発表の部では、山内中学校と北方中学校合同の吹奏楽部の演奏など 3 団体によるすばらしい活動発表をされました。

また、キッズウィークイベントとして、10 月 7 日から 10 日まで各町公民館では、家族でラジオ工作や親子ウォーキング、郷土の自然を描く会など趣向を凝らして様々なイベントを開催しました。

ウォーキングイベントでは 100 名を超える参加者もあり、親子で、あるいは家族で触れ合える機会を設けることができました。

それでは、初めに、学校教育について申し上げます。

「西九州新幹線開業記念武雄よかところ PR ポスターコンクール」には、市内の幼児・小学生・中学生から 1,860 点の応募があり、10 月 9 日に表彰式を実施し、9 月 15 日から 11 月 10 日まで市役所や武雄温泉駅など各所で展示を行いました。

西九州新幹線を利用した修学旅行につきましては、長崎駅に向けて出発した橘小学校6年生で10月13日に市内の学校で初めて実施し、11月下旬までに市内全ての小学校で片道もしくは往復で利用いたします。

議会の皆様の御理解で補助ができましたこと、西九州新幹線を利用したことがない児童が大半でしたので、開業の年に貴重な経験ができたことと感謝申し上げます。

小中学校の運動会、体育大会につきましては、熱中症対策やコロナ感染防止策を講じながら、家族が見守る中、市内全校において実施いたしました。

9月末に行われました杵島武雄地区中体連駅伝大会では、女子が、1位に山内中学校、2位に武雄中学校、3位に川登中学校、男子は1位に武雄北中学校、3位に武雄中学校と、すばらしい結果を残してくれました。

次に、子育て関係について申し上げます。

子育て総合支援センター15周年記念「おひさまフェスタ」を10月8日に開催しました。

ぼぼちゃんとの写真撮影会、手作りの滑り台や新幹線を模した乗り物などの新作遊具ではしゃぎ、パトカー・白バイ・はしご車・バス・高所作業車等の「はたらく車」に乗って喜び、子供たちの笑顔あふれるイベントとなりました。

また、子供服のおゆずりコーナーも人気で、約500名の親子連れでにぎわったところがございます。

次に、文化について申し上げます。

西九州新幹線が開業した9月23日から11月6日まで「大鉄道展」として、新幹線開業の機運醸成、文化に触れられる機会の創出を目的としたイベントを開催しました。

10月8日から9日まで「Rail&Art Fes 2022 in Takeo」を開催し、市役所では鉄道デザイナーの水戸岡鋭治展、水戸岡氏と市長のトークショー、ミニ新幹線乗車会、文化会館では音楽コンサートやパフォーマンス、キッチンカーイベント、武雄温泉駅では、新幹線と記念撮影、大学生によるアートイベントなどを行い、多くの方に御来場いただきました。

また、武雄市図書館・歴史資料館では、特別企画展「新風颯走 かもめ翔ぶ」や鉄道の日特別イベントを開催し、新幹線開業と鉄道開業150年を祝いました。

10月22日には、「しんかんせんコンサート」を文化会館で開催し、九州交響楽団による美しい管弦楽演奏のほか、市民合唱団COMEONME（かもめ）が楽団の演奏をバックに「こんにちは大きな木 こんにちは地球」の合唱を披露されました。

また、同日午前中には、武雄温泉駅南口駅前広場において、九州交響楽団と武雄高校吹奏楽部とのコラボレーションによるアウトリーチコンサートを行い、武雄のまちが音楽で包まれ、元気をもらいました。

伝統芸能では、10月16日に開催されました第5回佐賀県伝承芸能祭において、山内町の「立

野川内浮立」が県知事賞に輝かれ、コロナ禍で伝統芸能の継承活動が厳しい中で明るい話題となりました。

以上、教育に関する報告をいたしました。

なお、9月から11月までの3か月間に実施しました主な行事等につきましては、別紙一覧表にお示ししたとおりでありますので、御覧ください。

最後になりますが、今後とも、さらなる御指導・御鞭撻をお願い申し上げまして、教育に関する報告とさせていただきます。

議長／以上で本日の日程は終了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。